

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第2区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-533421(P2004-533421A)
【公表日】平成16年11月4日(2004.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2004-043
【出願番号】特願2002-574998(P2002-574998)
【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 39/015
A 6 1 K 9/127
A 6 1 K 39/00
A 6 1 K 39/04
A 6 1 K 39/29
A 6 1 K 39/39
A 6 1 P 31/06
A 6 1 P 31/20
A 6 1 P 33/06
A 6 1 P 37/02
C 0 7 K 7/00
C 0 7 K 14/02
C 0 7 K 14/35
C 0 7 K 14/445
C 0 7 K 14/82
C 0 7 K 17/06

【F I】

A 6 1 K 39/015
A 6 1 K 9/127
A 6 1 K 39/00 H
A 6 1 K 39/04
A 6 1 K 39/29
A 6 1 K 39/39
A 6 1 P 31/06
A 6 1 P 31/20
A 6 1 P 33/06
A 6 1 P 37/02
C 0 7 K 7/00
C 0 7 K 14/02
C 0 7 K 14/35
C 0 7 K 14/445
C 0 7 K 14/82
C 0 7 K 17/06

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月23日(2005.3.23)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

(a) リポソームを形成する自己組織化脂質と、

(b) 免疫原性モノリポペプチドであって、

(i) 該モノリポペプチドのペプチド部分が、癌タンパク質 M U C I からの少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含み、

(i i) 前記免疫原性ペプチドが、該ペプチド内に存在するアミノ酸を介して少なくとも 1 つの脂質に付着しており、

(i i i) 前記免疫原性ペプチドがリポソーム的に結合しており、これは、該ペプチドの脂質部分がリポソームの脂質二重膜に自然に組み込まれるため、該モノリポペプチドが該リポソーム内に取り込まれることを意味する

免疫原性モノリポペプチドと

を含むリポソーム組成物。

【請求項 2】

(a) リポソームを形成する自己組織化脂質と、

(b) 免疫原性モノリポペプチドであって、

(i) 該モノリポペプチドのペプチド部分が、結核、B 型肝炎、及びマラリアから選択される病気に関連するタンパク質からの少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含み、

(i i) 前記免疫原性ペプチドが、該ペプチド内に存在するアミノ酸を介して少なくとも 1 つの脂質に付着しており、

(i i i) 前記免疫原性ペプチドがリポソーム的に結合しており、これは、該ペプチドの脂質部分がリポソームの脂質二重膜に自然に組み込まれるため、該モノリポペプチドが該リポソーム内に取り込まれることを意味する

免疫原性モノリポペプチドと

を含むリポソーム組成物。

【請求項 3】

アジュバントをさらに含む請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記アジュバントが、リピド A と I L - 2 からなる群から選択される請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記自己組織化脂質が、マルチラメラ小胞 (M L V)、オリゴラメラ小胞 (O L V)、ユニラメラ小胞 (U V)、小型ユニラメラ小胞 (S U V)、中型ユニラメラ小胞 (M U V)、大型ユニラメラ小胞 (L U V)、巨大ユニラメラ小胞 (G U V)、多小胞 (M V V)、逆相蒸発法 (R E V) で作られた単一小胞、逆相蒸発法 (R E V) で作られたオリゴラメラ小胞、逆相蒸発法 (R E V) で作られたマルチラメラ小胞 (M L V - R E V)、安定なブルラメラ小胞 (S P L V)、凍結乾燥及び解凍した M L V (F A T M L V)、押出成形法で作製された小胞 (V E T)、フレンチプレスにより作製された小胞 (F P V)、融合により作製された小胞 (F U V)、脱水 - 再水和小胞 (D R V)、及びバブルソーム (B S V) からなる群から選択されるリポソームを形成する請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】

前記免疫原性ペプチドに付着した脂質が、前記免疫原性ペプチドの N 末端又は C 末端のいずれかに配置されている、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

前記免疫原性ペプチドに付着した脂質が、ミリスチル分子、パルミトイル分子、又はラウリル分子からなる群から選択される請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

前記モノリポペプチドが、約 9 ~ 約 1 0 0 アミノ酸を含む請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

前記モノリボペプチドが、MUC I 配列 G V T S A P D T R P A P G S T A の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 1 または請求項 3 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

前記モノリボペプチドが、MUC I 配列 S G V T S A P D T R P A P G S T A の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 1 または請求項 3 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

前記モノリボペプチドが、MUC I 配列 S T A P P A H G V T S A P D T R P A P G S T A P P の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 1 または請求項 3 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 12】

前記モノリボペプチドが、MUC I 配列 S G V T S A P D T R P A P G S T A P P A H G V T S A P D T R P A P G S T A P P A H G V S S L (配列番号 1) の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 1 または請求項 3 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 13】

前記モノリボペプチドが、結核ペプチド配列 D Q V H F Q P L P P A V V K L S D A L I K (配列番号 2) の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 2 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 14】

前記モノリボペプチドが、B 型肝炎ペプチド配列 I R T P P A Y R P P N A P I L K (配列番号 3) の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 2 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 15】

前記モノリボペプチドが、マラリアペプチド配列 V T H E S Y Q E L V K K L E A L E D A V K (配列番号 4) の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む請求項 2 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 16】

請求項 1 ~ 15 のいずれかに記載の組成物を含むワクチン。

【請求項 17】

医薬の調製のための請求項 16 に記載のワクチンの使用。